

# 庄司川総合内水対策計画

～国土交通省・福岡県・飯塚市が連携し、浸水被害の最小化を目指す～

○平成30年7月豪雨において甚大な被害が発生した遠賀川水系庄司川において、今後の治水対策を関係機関が連携し、「**庄司川総合内水対策計画**」として策定しました。

○国、県、市が連携し、**ハード・ソフト対策が一体**となった総合的な内水対策を実施することで、浸水被害の最小化を目指します。

## 被害軽減に向けた治水対策の推進【ハード対策】

■平成30年7月豪雨では、観測史上最高水位を更新する大きな洪水が発生。長時間高い水位が続いたため、庄司川地区で内水被害が発生

→ **被害の軽減に向けた治水対策を加速化し推進を図る。**



遠賀川本川の状況(川島付近)

### 〈主な取り組みメニュー〉

- **遠賀川本川の河川水位を低下させるための取り組み**
  - ・洪水が円滑になれるよう河道掘削等の推進
- **庄司川の河川水位を低下させるための取り組み**
  - ・庄司川の河川改修の推進
  - ・調節池の洪水調節施設の整備
  - ・庄司川排水機場のポンプ増設
- **庄司川からの逆流防止対策**
  - ・フラップゲートの設置
- **地先対応による浸水防止**
- **河道・管理施設等の適切な維持管理**

## 減災に向けた更なる取り組みの推進【ソフト対策】

■気候変動により雨の降り方の変化を踏まえ、施設機能を超過する降雨などに対して社会全体で対応する必要がある

→ **土地利用に関するルールづくりや、きめ細やかな情報提供等を国、県、市等が連携して実施することにより「防災・減災機能」の向上を図る。**



### 〈主な取り組みメニュー〉

- **対策効果を将来にわたって維持する対策**
  - ・条例等による土地利用に関するルールづくり
- **水防災学習の普及による水防災文化の醸成**
  - ・水防災教育の普及・充実、防災知識の普及
- **関係機関の連携による避難、水防、復旧体制の強化**
  - ・大規模な洪水の発生を想定した安全な避難場所の確保
  - ・避難に着目したタイムラインの確立
  - ・効率的かつ的確な水防活動や施設操作の実施
  - ・氾濫水の早期排水や迅速な復旧のための備え
- **避難行動につながる確実かつ住民目線のわかりやすい情報の提供**
  - ・水害リスク情報の周知
  - ・避難に関するリアルタイム情報の提供

# 庄司川総合内水対策計画【ハード対策】

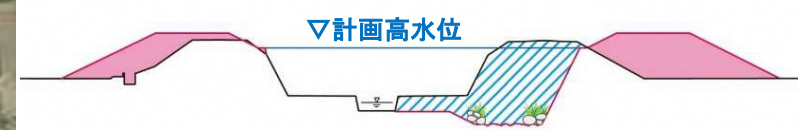
別紙3

## 庄司川河川整備イメージ図

【下流区間】



【津島橋下流】



庄司川内水対策 (1/10対応)

国土交通省 (遠賀川本川管理者)

- ・遠賀川本川の河道掘削
- ・庄司川排水機場の増強 (現状15m<sup>3</sup>/s)

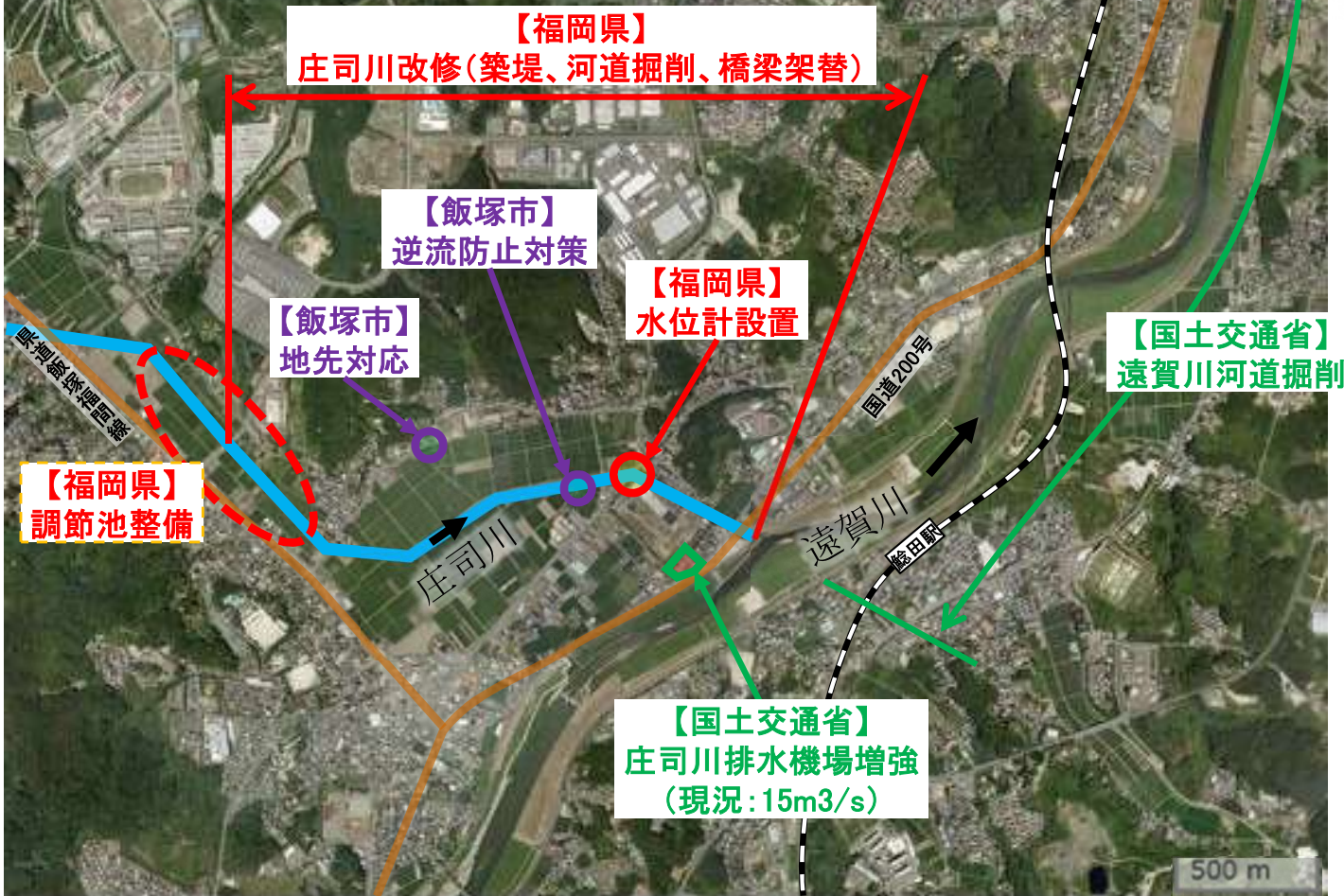
福岡県 (支川管理者)

- ・庄司川の河川改修
- ・調節池整備
- ・水位計設置 (危機管理型)

飯塚市 (地元自治体)

- ・庄司川からの逆流防止対策

施設機能が十分に発揮されるよう、河道や管理施設などの適切な維持管理

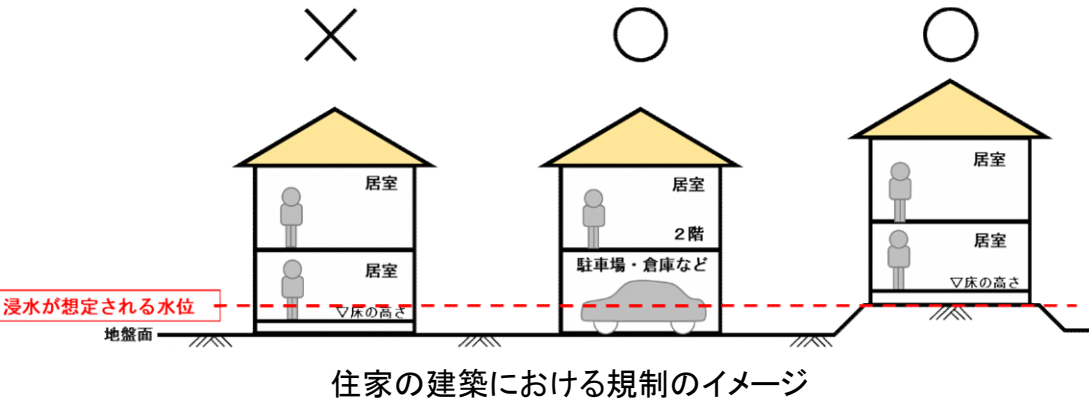


## ■対策効果を将来にわたって維持する対策

- ・国、県、市の浸水対策事業の整備後も内水による浸水の危険性が高い地域において、地域と連携して土地利用に関するルールづくりを行い、家屋浸水被害の軽減を図る。

## ■関係機関の連携による避難、水防、復旧体制の強化

- ・大規模な洪水の発生を想定した安全な避難場所の確保
- ・避難に着目したタイムラインの確立
- ・効率的かつ的確な水防活動や施設操作の実施
- ・氾濫水の早期排水や迅速な復旧のための備え



水防団との備蓄資材の確認状況

## ■水防災学習の普及による水防災文化の醸成

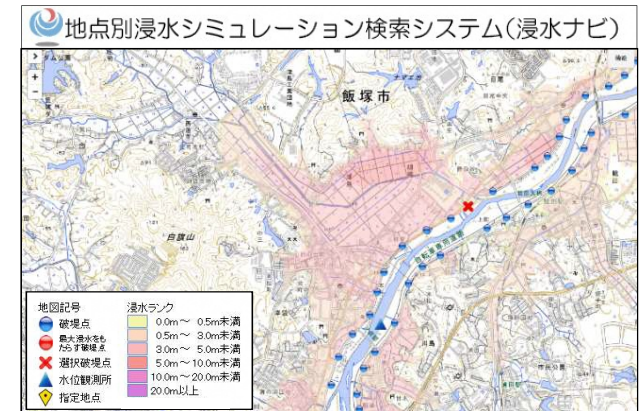
- ・住民自らが主体的に避難行動をとるために、防災意識の向上や防災知識の取得する取組を推進する。

## ■避難行動につながる確実かつ住民目線のわかりやすい情報の提供

- ・水害リスク情報の周知
- ・避難に関するリアルタイム情報の提供



水防災意識普及のための取組事例(先生による授業)



水害リスク情報の周知